



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ
改訂4版2018出版のご案内
- 日本農薬学会第43回大会の御案内
- 平成31年・32年度日本農薬学会役員選挙に
ついて

平成29年度 第4回常任評議員会議事録

日 時：平成29年12月9日(土) 13:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：出席者 18名(含第43回大会実行委員長), 欠席者
0名

議 事：

I. 平成29年度第3回常任評議員会議事録の確認

II. 経過報告および議案

1. 財務関係

- ・平成29年度収支の現状(1月1日～11月30日)について報告があった。
- ・平成29年度の決算予想が報告された。

2. 編集委員会

- ・JPS43巻1号と和文誌43巻1号の発刊予定について報告があった。
- ・平成29年12月5日までの投稿審査状況の報告があった。
- ・論文へのアクセス状況, 読み物シリーズ, 企画, シンポジアについて説明があった。
- ・PubMedへの申請について説明があった。
- ・編集委員会の今年度予算について議論があった。

3. 環境委員会

- ・組織名称, 細則及び専門委員会規定の改定が承認された。
- ・「農薬を知ろう」Webサイトのキュレーター説明会

の開催予定の報告があった。

- ・残留分析セミナーの開催が報告された。
- ・「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」の出版予定について報告があった。
- ・講師派遣の状況が報告された。
- ・平成29年度決算について報告された。
- ・研究奨励金の応募状況が報告された。

4. 将来計画委員会

- ・特になし

5. ホームページ委員会

- ・ホームページへの要旨の掲載, 検索システムについて報告があった。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・学会賞受賞者選考の結果が報告された。

7. 植物保護科学連合

- ・シンポジウム開催について報告された。

8. 日本農学会

- ・日本農学会運営委員会の報告があった。

9. 公益法人農学会

- ・特になし

10. 日植防と3学会打合せ

- ・日本植物防疫協会と3学会の懇談会について報告があった。

11. 学術小集会関係

- ・学術小集会の活動経費補助申請と平成30年度予算について審議した。

12. 40周年記念事業関連

- ・要旨集のアーカイブ化と検索, 合本作成について報告された。

13. 第43回大会関係

- ・広告掲載, ランチョンセミナーの申し込みがあった。
- ・参加申し込みスケジュールが確認された。
- ・5/24カレッジプラザ, 5/25秋田ビューホテル, 5/26-27は秋田県立大学でのタイムテーブルが確認された。
- ・2件のシンポジウムが小集会との共催で開催される。
- ・秋田駅から秋田県立大学への参加者の輸送について議論された。

14. 入退会の報告

- ・維持会員の退会について報告された。

15. その他

- ・顧問への情報提供について議論された。
- ・学生優秀発表賞について議論された。
- ・ACSへの連絡担当窓口を決定した。

平成29年度 第5回常任評議員会議事録

日 時：平成30年2月10日(土) 13:00～17:40

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：出席者 16名(含第43回大会組織副委員長), 欠席者2名

議事：

I. 平成29年度第4回常任評議員会議事録の確認

II. 経過報告および議案

1. 財務関係

- ・平成29年度収支決算(1月1日～12月31日)について報告があった。
- ・平成30年度の収支予算について報告があった。

2. 編集委員会

- ・JPS43巻1号と和文誌43巻1号の発刊予定について報告があった。
- ・平成30年1月28日までの投稿審査状況が報告された。
- ・インパクトファクター, 電子ジャーナル掲載論文へのアクセス状況, Special issue, ショートレビューについて報告があった。
- ・PubMedへ掲載申請を行った。
- ・JPS掲載論文の日本語要旨の必要性について議論した。

3. 学術・技術支援委員会(旧環境委員会)

- ・平成29年度決算, 30年度予算について報告があった。
- ・「農業を知ろう」Webサイトのキュレーター説明会が開催された。
- ・Q&A集第4版の出版について報告された。

4. 将来計画委員会

- ・会員数の増加に向けた検討をすることとした。

5. 植物保護科学連合

- ・学術会議植物保護科学分科会委員長の決定について報告があった。

昆虫科学連合

- ・2024年開催の国際会議の誘致について説明があった。

6. 日本農学会

- ・一般社団法人化の完了, 日本農学会賞の推薦について報告があった。

7. 学術小集会関係

- ・平成29年度収支決算について報告があった。

8. 農業科学研究奨励金について

- ・申請内容の概要について説明があった。

9. 役員・評議員選挙について

- ・選挙日程の確認を行った。

10. 技術士推進委員会について

- ・技術士育成推進委員会の開催について報告があった。

11. シンポジウムの後援などについて

- ・2件の協賛依頼について承認した。

12. 40周年記念事業関連

- ・記念事業収支決算について報告があった。

13. 第43回大会関係

- ・大会準備の進捗状況について報告があった。
- ・常評・編集委員会・評議員会・総会の開催時間, 内容について確認した。
- ・学生優秀発表賞の選考方法について議論した。
- ・総会資料の確認を行った。

14. 入退会の報告

- ・入退会, 除籍について報告があった。

15. その他

- ・IUPAC 2019のプログラムに関する情報を共有した。
- ・ACSアグロディビジョンとの連携について議論した。
- ・平成30年度の常評日程を決定した。

III. 「平成30年度農業科学研究奨励金」交付者の決定

- ・一次審査の結果を元に二次審査を行った。

会 員 動 静

(平成29年12月1日～平成30年3月31日)

入会

正会員

小林 陽子	間下大樹志	島崎 順平	山根 泉
高野 博徳	菊田 真吾	富田 恭範	小西 克彦
新井 俊介	高橋 絹海	杉本 宰	田中 昭人
辻村 和也	YADAV, Ishwar	草苺 啓	提箸 祥幸
秦 大介	濱本 博三	平林 正通	小森 岳
高橋 淳			

学生会員

能崎 薫	隠塚 修平	神野 公哉	アフメッドマフムド
三又 一泰	薬師 葉	三反崎拓也	青山 綾希
坂田 恵	長谷川琢也	藤田 萌香	藤田健太郎
小松 頌子	重吉 沙衣	山藤 康平	疋田 麻衣
及川 和吉			

海外会員

KIMMEL, Stefan

維持会員

エフエムシー・ケミカルズ株式会社

団体会員

日本生活協同組合連合会 積水化学工業株式会社
(受付順)

会 場：秋田県立大学（秋田キャンパス）[〒010-0195 秋
田県秋田市下新城野宇街道端西241-438]
U R L : <http://pssj2.jp/congresses/43/taikai43.html>

退会

終身会員

鶴沼 英夫

正会員

安部 俊博	青山 吉一	池上 直人	甲斐 浩幸
片山 正人	河合 守雄	小林 照二	黒田 潔
黒木由美子	鍬塚 敏昭	正木 隆男	森田 健二
内藤 覚	中島 修平	大崎 佳徳	大井 正典
大木 大輔	瀬尾 明	滝澤 英二	多羅尾光徳
中川 英紀	小野 美帆	山根精一郎	梶山剛志郎
牛口 良夫	椎野太二郎	奈須 一晃	川島 藤正
高山 尊之	福井 康祐	田中 健一	松崎 浩平
岩淵 博己	丸井 沙織	兼松 慧	井口 智義
尾崎 正美	大西 秀幸	安田 吉将	阪森 宏治
DANG, Quoc Thuyet	葛西 雅博	永田 大貴	宮原 治
BAOQILEMUGE	熊谷 洋	松浦 麻衣	藤松 益男
吉田 裕史	北岡 洋平	本田 義成	美里 成志
中川 有理	秋山 嘉大	武藤 千明	福田 有希
澁谷 直美	能崎 薫	二方 久	山田 誠

学生会員

INDRA, Purnama	松原王起也	立花 誠治	山田 将太
長谷川琢也	広村 知也	西塚 紘明	岩崎 愛
安井 令			

海外会員

Hong, Wu HE CHUNG, Wen-Hsin Bipulbehari, Saha Cao, Haiqun
Aktaruzzaman, Md Abdul Jabbar, Al-Rajab

団体会員

住友金属テクノロジー（株）
全農 営農・技術センター農薬研究室
日光ケミカルズ株式会社

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛，後援する会議等

2018年

5月

25日(金)～27日(日) 日本農薬学会第43回大会

主 催：日本農薬学会

26日(土) 第35回農薬生物活性研究会

主 催：日本農薬学会，農薬生物活性研究会
会 場：秋田県立大学（秋田キャンパス）[〒010-0195 秋
田県秋田市下新城野宇街道端西241-438]
U R L : <http://pssj2.jp/congresses/43/taikai43.html>

27日(日) 第15回農薬バイオサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会，農薬バイオサイエンス研究会
会 場：秋田県立大学（秋田キャンパス）[〒010-0195 秋
田県秋田市下新城野宇街道端西241-438]
U R L : <http://pssj2.jp/congresses/43/taikai43.html>

10月

11日(木)～12日(金) 第41回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会
会 場：長崎ブリックホール [〒852-8104 長崎県長崎市
茂里町2-38]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu41.html>

18日(木)～19日(金) 第38回農薬製剤・施用法研究会

主 催：日本農薬学会，農薬製剤・施用法研究会
会 場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター [〒520-
0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai38.html>

11月

8日(木)～9日(金) 第36回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会
会 場：ホテルクラウンパレス甲府 [〒400-0862 山梨県
甲府市朝気1丁目2-1]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/environment.html>

8日(木)～9日(金) 第33回農薬デザイン研究会

主 催：日本農薬学会，農薬デザイン研究会
会 場：ホテルアンピア松風閣 [〒425-0012 静岡県焼津
市浜当目海岸通り星が丘]
U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

学会主催会議などの詳細

第38回農薬製剤・施用法合同シンポジウム

主催：日本農薬学会，農薬製剤・施用法研究会

協賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，日本油化学会

会場：ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）「ピアザホール」[〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20]

TEL: 077-527-3315

(JR大津駅から京阪・近江バス なぎさ公園線 約8分「ピアザ淡海」下車，JR大津駅からタクシー約5分，JR膳所駅から徒歩約12分，京阪電車石場駅から徒歩約5分)

URL: <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai38.html>

懇親会会場 びわ湖大津プリンスホテル 3階「プリンスホール」

1. プログラム (予定)

10月18日	13:00～17:20	特別講演 (2件)，ポスターセッション
	18:00～20:00	懇親会
10月19日	9:00～16:30	特別講演 (2件)，技術研究フォーラム

【特別講演1】

- ①「In-can and tank mix drift retardants: A tool to minimize the agrochemical losses caused by drift (provisional)」
John Aponte (Global Technical Marketing Crop Solutions, Industrial & Consumer Specialties, Clariant International Ltd.)
- ②「農薬封入生分解性キャリアナノ粒子を用いた植物病原菌の防除」
野村 俊之 (大阪府立大学大学院 工学研究科 化学工学分野)
- ③「薬剤施用法をめぐる論点」
藤田 俊一 (一般社団法人 日本植物防疫協会)
- ④「水稻の新しい移植栽培法の展開」
藤岡 修 (農研機構 農業技術革新工学研究センター)

2. 参加申込み

1) 参加申込み方法

所定の参加申込書に，所属，氏名（フリガナ），連絡先等の必要事項を明記の上，平成30年6月30日（土）までにE-mail（別紙1のExcelファイル形式のまま），ファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい。

なお，発送事務等の省力化のため，会社・事業所・研究機関等の単位で代表者を取りまとめるの上，一括してお申し込み下さるようお願い致します。大会運営の都合上定員（380名）になり次第，締め切らせていただきますのでお早目の申込みをお願い致します。申込み期限を過ぎますと，早期割引料金が適用されませんので，ご注意ください。

- ・参加申込書：別紙1を参照ください。
- ・申込み先：ネオライト興産（株）営業部
第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
木村 健市（キムラ ケンイチ）
〒546-0002 大阪府大阪市東住吉区杭全7-4-16
TEL: 06-6714-3651 FAX: 06-6714-3675 seizai38@neoraito.co.jp

2) 参加費

- (1) 6月30日までに申込みの早期割引料金
 1. 日本農薬学会及び協賛学会（協会）会員の場合
14,000円（内 研究会費 8,000円，懇親会費 6,000円）
 2. 上記学会の個人会員でない場合：
17,000円（内 研究会費 11,000円，懇親会費 6,000円）

(2) 7月1日～当日の参加申込みの通常料金

19,000円（内 研究会費 13,000円，懇親会費 6,000円）

参加費には、2日目の昼食（弁当）も含まれます。なお、1日だけの参加、および懇親会の参加有無にかかわらず、参加料金は一律（研究会費＋懇親会費）です（振込手数料につきましては別途負担となります）。

3) 参加費振込

参加申込み後は、下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します。また、一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご入金確認後に、折返し参加確認および・参加費振込確認書を送付致します。別紙1にてお受け取り方法をご指定ください（E-mail, ファックスまたは郵送）。なお、参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。

振り込み先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店（店番号061）

普通口座番号 0020365

日本農薬学会 製剤施用法研究会（ニホンノウヤクガツカイ セイザイセヨウホウケンキュウカイ）

3. 技術研究発表・ポスターセッション申込み

技術研究発表・ポスターセッションは農薬製剤・施用法全般に関するものとします。

技術研究発表：プレゼンテーション（15分）＋質疑応答（5分）

ポスターセッション：ショートプレゼンテーション（3分）の後、ポスター展示にて行います。

発表を希望される方は、希望発表形式（口頭あるいはポスター）、演題、発表者、所属等を所定の申込み用紙に記入の上、平成30年6月30日（土）までにE-mail, ファックスまたは郵送で下記にお申込み下さい。

また、発表希望者は、[技術研究発表要領]（別紙3）により作成した発表要旨を平成30年7月31日（火）までにE-mailまたは郵送でお送り下さい。

なお、技術研究発表・ポスターセッションを希望される方も別途参加申込みが必要となります。前項「2. 参加申込み」を参照ください。

発表申込書：別紙2を参照ください。

技術研究発表要領：別紙3を参照ください。

・送付先：担当委員（技術研究発表担当）

日本農薬（株）生産本部 技術部 生産技術センター内

第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

清水 寿明（シミズ トシアキ）宛

〒555-0001 大阪府 大阪市 西淀川区 佃5-2-30

TEL: 06-6473-0021 FAX: 06-6475-5440 seizai-present@nichino.co.jp

4. 宿泊先

事務局での宿泊手配は行っておりません。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をお願い致します。

5. 事務局

[シンポジウム全般に関する問い合わせ]

三井化学アグロ（株）研究開発本部 農業科学研究所 製剤設計グループ内

第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

来田 丈太郎（キダ ジョウタロウ）

〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅1358

TEL: 077-586-1223 FAX: 077-586-2538 nss-shinpo38@mitsuichemicals.com

[参加申込み・参加費に関するお問合せ]

ネオライト興産(株) 営業部
第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
木村 健市(キムラ ケンイチ)
〒546-0002 大阪府大阪市東住吉区杭全7-4-16
TEL: 06-6714-3651 FAX: 06-6714-3675 seizai38@neoraito.co.jp

[技術研究発表・ポスターセッションに関するお問合せ]

日本農薬(株) 生産本部 技術部 生産技術センター
第38回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
清水 寿明(シミズ トシアキ)
〒555-0001 大阪府大阪市西淀川区佃5-2-30
TEL: 06-6473-0021 FAX: 06-6475-5440 seizai-present@nichino.co.jp

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」出版のご案内

本書の初版が出版された2003年頃、輸入冷凍作物からの残留農薬検出や無登録農薬の使用問題等により、農作物等食品の安全性に対する懸念から残留農薬検査の需要が飛躍的に伸びました。それに伴い、農作物の残留農薬検査を実施する検査機関も大幅に増加しましたが、同時に分析結果の信頼性に疑念を抱かせるような事例も増加しました。このような事情に鑑み、日本農薬学会では農薬残留分析技術者の資質向上を目的とし、「残留農薬分析セミナー」を開催するとともに、残留分析技術者をサポートできる参考書として本書を刊行し、その後2005年に改訂2版を、2012年に改訂3版を出版してきました。

改訂3版の出版以降、農薬登録における作物残留試験の試験例数の見直しが図られたほか、2014年には家畜代謝・残留試験、2015年には急性暴露評価が導入され、更にはCodexの食品分類に基づく作物群登録の導入が進むなど農薬取締行政の国際調和への取組みが加速されつつあります。これに伴い農薬開発に占める残留農薬分析の重要性が一層増大しています。このたび、新たな動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理した改訂4版を出版いたしました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようご活用頂けると幸いです。なお、定価は3,000円です(送料別)。

購入申込み方法:

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数(FAX申込みの場合はFAX番号)等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書(送料を含む)を同封し発送しますので、振込みをお願いします。

日本農薬学会事務局:

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内
FAX: 03-5980-0282
MAIL: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

日本農薬学会第43回大会の御案内

日本農薬学会第43回大会を平成30年5月25日(金)から5月27日(日)までの3日間にわたって秋田ビューホテルおよび秋田県立大学(秋田キャンパス)にて開催いたします。本会会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。植物防疫関係2学会(日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会)および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員扱いとなりますので、お近くの関係学会員の方に参加をお誘いいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。多数のご参加をお待ち申し上げます。

大会の詳細は日本農薬学会ホームページで随時お知らせいたします。

I. 開催場所

総会，学会賞授賞式，受賞講演，特別講演，懇親会，受賞祝賀会

『秋田ビューホテル』 (<https://www.viewhotels.co.jp/akita/>)

航空機をご利用の場合，秋田空港からリムジンバスで「秋田駅西口」下車（所要 約35分）．秋田駅西口よりホテルまで徒歩約3分．

一般講演，シンポジウム，ランチョンセミナー，展示会

『秋田県立大学秋田キャンパス』 (<http://www.akita-pu.ac.jp/access/index.htm>)

JR「秋田駅」から奥羽本線もしくは男鹿線（下り）で「追分駅」下車（所要 約15分），追分駅から大学まで徒歩約25分．秋田県立大学秋田キャンパスでは，駐車場をご利用いただけます（無料）．

II. 会期および日程

平成30年5月25日（金）～5月27日（日）

月・日	午前	昼	午後	会場
5月25日（金）	総会，授賞式 受賞講演		受賞講演，特別講演 懇親会・受賞祝賀会	秋田ビューホテル
5月26日（土）	一般講演	ランチョンセミナー	一般講演 シンポジウム	秋田県立大学秋田キャンパス
5月27日（日）	一般講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	秋田県立大学秋田キャンパス

常任評議員会，評議員会および編集委員会は，5月24日（木）にカレッジプラザ（秋田駅から徒歩7～8分）で開催します．詳細については別途ご案内します．

III. 特別講演およびシンポジウム

1. 特別講演

- 橋本 勝（弘前大学農学生命科学部）
「リンゴ果実におけるマイコパラサイト現象の生物有機化学」
- 堀 雅敏（東北大学大学院農学研究科）
「青色光の殺虫効果と防除への応用」
- 西本 麗（農薬工業会会長，CropLife International 理事）
「農薬産業の世界的動向」

2. シンポジウム

- 「未来を照らせ！新成分・新活性 一第35回農薬生物活性研究会シンポジウム一」（農薬生物活性研究会との共催）
平成30年5月26日（土）15:00-18:15
オーガナイザー：濱村謙史朗
「フェアリー化合物の化学，そして農業への応用の可能性」
静岡大学グリーン科学技術研究所 河岸洋和
「ジャスモン酸類縁体（プロヒドロジャスモン）を用いたアザミウマ類の行動抑制による被害抑制効果」
理化学研究所バイオリソースセンター 安部 洋
「新規殺菌剤トルプロカルブの作用機作と生物活性」
三井化学アグロ株式会社 萩原寛之
「新規殺菌剤ピラジフルミドの生物活性」
日本農薬株式会社 菊武和彦
「新規水稲除草剤フェンキノトリオンの生物活性」
クミアイ化学工業株式会社 生物科学研究所 永松 敦
- 「先端技術と農薬の未来像」（農薬バイオサイエンス研究会との共催）
平成30年5月27日（日）13:15-16:20

- オーガナイザー：野下浩二
「天然物立体異性体を用いる植物ホルモン活性の化学チューニング」
東北大学大学院理学研究科 上田 実
「バイオインフォマティクスへの機械学習の取り込みとオーキシン阻害剤開発」
横浜市立大学木原生物学研究所 筧 雄介
「構造ベース創農薬による硝化抑制剤の開発 ～農薬開発に必要なイノベーション～」
農業・食品産業技術総合研究機構 西ヶ谷有輝
「細胞膜透過ペプチド：ポリヒスチジンを利用した動物・植物細胞に対する分子輸送」
鳥取大学農学部 岩崎 崇
「ピンポイント塩基編集による次世代育種の可能性」
神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 西田敬二

IV. ランチョンセミナー

各ランチョンセミナーでは、弁当が定員（70名）まで無料で提供されます。チケットは、当日の朝8:30から受付付近で配布します。

5月26日（土）12:00-13:00

エンヴィーゴ株式会社、日本チャールス・リバー株式会社、農業工業会

5月27日（日）12:00-13:00

Pharmaron UK / ビオブリッジ株式会社、IES Ltd. / 株式会社スリーエス・ジャパン、ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

V. 一般講演について

講演はすべて、Microsoft PowerPoint で作成されたファイルを液晶プロジェクターで投影して行います。講演時にトラブルが起きないように、下記の注意点を参考にしてファイルの作成と受付を行ってください。使用するノートパソコン（OS：Windows 8）には、最新の Microsoft PowerPoint Viewer（無料ソフト）がインストールされています。舞台上の PC は、補助者はつきませんが、原則として演者の方ご自身で操作していただきます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名（半角英数のみ使用）。ppt（あるいは、pptx）としてください。例：A101_Akita.ppt
- (2) 講演時間は1題分（講演12分、討論3分）です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントの選択に留意してください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字（①、（株）など）の使用は、極力避けてください。
- (4) 動画等を含む大容量のファイルはトラブルの原因になりますので、極力避けてください。やむを得ない場合は、ファイルを可能な限り圧縮してください。
- (5) 作成されたファイルはWindows版のPowerPointでスムーズにスライドショーができることを確認してください。特にMacintoshをご使用の方は、ファイルをお持ちいただく前に、Windows版のPowerPointで動作確認を各自お願いいたします。特にフォントずれや文字化け、オブジェクトの非認識等にご注意ください。

データ受付の流れ

※発表ファイルの受付は、原則として5月25日（金）（大会1日目）に秋田ビューホテルにて済ませてください。発表者が受付できない場合は、共同発表者の方が代わりに行ってください。発表直前の受付はご遠慮ください。

- (1) 発表用ファイルはUSBメモリに保存してお持ちください。
- (2) 総会会場の受付付近に設置した「発表ファイル受付」にて、ウイルスチェックを行なった後、発表ファイルをコピーしていただき、スライド動作に問題がないかどうかを確認してください。
- (3) 万が一のトラブルに備え、発表用ファイルの入ったUSBメモリは、発表時にご持参ください。
- (4) 大会終了後は、講演会場用 PC にコピーされた発表ファイルは大会実行委員立会いの下、確実に削除いたします。

VI. 参加登録

1. 事前参加登録は、平成30年4月16日(月)に締め切りました。以降は、すべて当日受付となりますので、大会会場にてお申込みください。

		事前参加登録費	当日参加登録費(4月17日以降)
大会参加費 (講演要旨集1部の代金を含む)	正会員	5,000円	7,000円
	学生会員	2,000円	3,000円
	非会員	8,000円	10,000円
	講演要旨集のみ	3,000円	3,000円送料込み(大会終了後発送します)
懇親会費	正会員・非会員	8,000円	10,000円
	学生会員	3,000円	3,000円

※植物防疫関係2学会(日本植物病理学会・日本応用動物昆虫学会)および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員と同じ参加費です。

2. いったん納入された参加登録費・懇親会費は返金いたしません。
3. 大会参加登録費用に相当する領収書(参加登録費・懇親会費)は、大会当日に参加証と一緒にお渡しします。
4. 事前参加登録し、参加登録費をお支払いいただいた方は、事前参加登録ページの大会参加証引換券発行ページから大会参加証引換券を印刷できます。その引換券を印刷して、学会当日、大会受付へ提出ください。参加証を引き換えにお渡しします。

VII. 宿泊について

東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページから、ホテルの宿泊を予約できますのでご利用ください。

VIII. 託児室について

申し込みを締め切りました。

秋田県立大学生物活性物質研究室

日本農薬学会第43回大会組織委員会

住所：〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

TEL：018-872-1634

E-mail: noye (at) akita-pu.ac.jp

(at)を@に置き換えてください。

担当：野下浩二(のげこうじ)

平成31・32年度日本農薬学会役員選挙について

平成30年10月に平成31・32年度日本農薬学会役員選挙が実施される予定です。今回からは、インターネットを利用するWeb投票システムのみとなります。詳細につきましては、選挙管理委員会発足後に、メールまたは郵便にてご連絡致します。また、次号ニュースレターでもお知らせ致します。なお、本会規定により、本年5月31日の時点で今年度の会費を納入していない方には選挙権・被選挙権が認められませんので、会費を払われていない会員の皆様には会費納入を5月末までに済ませて下さいますようお願い致します。

日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10 日本植物防疫協会ビル5階

電話番号 03-5980-0281

ファックス番号 03-5980-0282

E-mail nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp